

2020年ローザンヌ国際バレエコンクールはモントルーにて開催、夏季ヨーロッパ選抜も行われる

chacott-jp.com/news/worldreport/others/detail011109.html

- ワールドレポート
- ワールドレポート (その他)

2019/1/17掲載

バレエ

- ツイート
- シェア

ワールドレポート/その他

香月 圭 text by Kei Kazuki

まもなく第47回ローザンヌ国際バレエコンクール本選（2019年2月4～9日）が開催されるが、コンクール会場の役目を長年果たしてきたローザンヌのボーリュ劇場が今夏から改装工事に入るため、第48回大会はレマン湖東側の街モントルーのストラヴィンスキー・オーディトリウムで開催されると舞踊財団とモントルー文化財団が共同で発表した。コンクール事務局によると、2年後の2021年大会は再び本拠地ローザンヌのボーリュ劇場で開催できる見込みだという。

2020年モントルー開催に向けての初の試みとして、「夏季ヨーロッパ選考」が行われる。コンクール事務局長キャスリン・ブラッドニーが「我々の本拠地スイスとヨーロッパで才能ある若いダンサーを発掘したい」という思いから実現したという。2019年7月上旬の6日間の集中講座で、欧州およびスイス市民であることが応募にあたっての条件となる。14～18歳の60名程度がニコラ・ル＝リッシュ、マリクレール・オスタといった一流講師陣の指導を受けられる。この夏季コース参加者のなかから2～4名程度が2020年第48回ローザンヌ国際バレエコンクールへの出場資格を得る応募要項概要は下記のとおり。

◆2020年夏季ヨーロッパ選考 応募要項概要

- 夏季集中コース：2019年7月8～13日ローザンヌにて実施
- 応募資格：ヨーロッパおよびスイス市民かつ2001年2月8日～2005年2月8日生まれの者
- 応募期間：2019年1月15日～3月15日ローザンヌ国際バレエコンクール公式サイトにてオンライン登録
- 登録料：350スイスフラン/映像審査通過後、夏季集中コース参加時の授業料は無料
- 映像審査：2019年3月22～24日
- 映像審査通過者発表：2019年3月27日
- 第48回ローザンヌ国際バレエコンクール（モントルー開催）：2020年2月2～9日

今年の第47回大会では、生涯功労者としてマリシア・ハイデが表彰されることとなった。

2019年2月9日、最終審査結果を待つ観客のためにインターロード（幕間に行われる演劇・コンサート）が用意されている。今年のプログラムは3つ。まず、オニール八菜（2009年度入賞）が『ライモンダ』よりハンガリアン・ヴァリエーション、続いてリヨン・オペラ・バレエのダンサー2人によるラッセル・マリファント振付作品『Critical Mass』、最後にコンクールとの提携校との振付プロジェクトの新作完成披露も行う。コンクールとの提携校13校より選ばれた26名の生徒たちが、オランダ出身のディディ・フェルドマンの新作のリハーサルをコンクール期間中に行い、観客の前で新作の世界初演を行う。このなかには日本人生徒も数名選ばれている。今回の審査員はカルロス・アコスタ（1990年金賞）を審査委員長として吉田都、フリオ・ポッカ、ジリアン・マーフィー、エリック・ヴ＝アンなど9名。吉田都が審査を務めるのは1993年、2009年、2012年に次いで4度目となる。



JULY 8TH – 13TH, 2019
SUMMER INTENSIVE
EUROPEAN PRESELECTION
REGISTRATION DEADLINE
MARCH 15TH, 2019

LAUSANNE, SWITZERLAND


P R I X
D E
L A U S A N N E

生涯功労賞 マリシア・ハイデ

©HagenSchmitt

審査員長カルロス・アコスタ

©JohanPersson

審査員 吉田都 ©DR

オニール八菜 ©JamesBort

ディディ・フェルトマン ©DR

【第47回ローザンヌ国際バレエコンクール】

◇生涯功労者賞：マリシア・ハイデ

◇審査委員長：カルロス・アコスタCBE〈大英帝国三等勲爵士〉（カルロス・アコスタ国際舞踊財団理事、カルロス・ダンス主宰、1990年ローザンヌ国際バレエコンクール入賞）

副審査員長：イヴァン・ジル＝オルテガ（元シュツットガルト・バレエプリンシパル、1994年ローザンヌ国際バレエコンクール・ファイナリスト）

審査員：

フリオ・ポッカ（元ABTプリンシパル、2014年ローザンヌ国際バレエコンクール審査員、2016年同コンクール審査員長）

ジリアン・マーフィー（ABTプリンシパル、1995年ローザンヌ国際バレエコンクール エスポワール賞）

マドレーン・オンネ（フィンランド国立バレエ芸術監督）

ギャリー・トリンダー (ニュージーランド・スクール・オブ・ダンス校長)

エリック・ヴ=アン (ニース・メディテラネ・バレエ芸術監督)

サムエル・ウエルステン (オランダ・ダンスフェスティバル・ディレクター、コダーツ・ロッテルダム芸術大学理事)

吉田 都 (新国立劇場舞踊次期芸術監督予定者芸術参与、1983年ローザンヌ国際バレエコンクール ローザンヌ賞)

◇2019年2月9日最終審査日インターロード (幕間ガラ・コンサート) 2019プログラム

1. 『ライモンダ』よりハンガリアン・ヴァリエーション：オニール八菜
2. ラッセル・マリファント振付『Critical Mass』：リヨン・オペラ・バレエ
3. 〈第二回提携校振付プロジェクト〉ディディ・フェルトマン新作世界初演

日本人出演者：

中尾 洸太(Kota Nakao)：マンハイム・バレエアカデミー

伊藤 舞 (Mai Ito)：セントラル・スクール・オブ・バレエ

中島 実紀 (Minori Nakashima)：オランダ国立バレエアカデミー

有村 花梨菜 (Karina Arimura)：オーストラリア・バレエスクール

◆ローザンヌ国際バレエコンクール公式サイト

<https://www.prixdelausanne.org/>

◆ローザンヌ国際バレエコンクールYouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/user/PrixdeLausanne>

ワールドレポート

過去の記事

- 2019
- 2018
- 2017
- 2016
- 2015
- 2014
- 2013
- 2012
- 2010
- 2009
- 2008
- 2007
- 2006
- 2005
- 2004

ジャンル別に見る

- [ワールドレポート \(その他\) 記事一覧へ](#)
- [ワールドレポート記事一覧へ](#)

News

[ページの先頭へ戻る](#)